

(1) 令和元年度の学校評価

本年度の重点目標	<p>1 より深く考え、より豊かに表現する力を育むため、授業の改善を図る。 2 将来を見据えた進路選択ができるよう、キャリア教育の充実を図る。 3 保護者、地域、異校種、企業、海外等との連携や交流による教育を進める。 4 多忙化や多忙感を解消するため、業務の効率化、量から質への転換を図る。</p>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
総務課	・PTA活動、同総会活動の充実(重点目標3) ・周年行事の円滑な遂行	PTAや同総会の活動・周年行事を通じた教育の充実	PTA理事会や同総会理事会と協力して、生徒の活動をサポートするとともに、教育活動全体をHP等を活用し積極的に学校の様子を発信する。
学習指導課	・新学習指導要領への対応 ・授業の質の向上 ・家庭学習の充実(重点目標1)	・新しい教育課程を研究、策定 ・授業参観、研究授業の実施 ・「予習→授業→復習」の学習サイクルの徹底	・新しい時代に合った教育課程を策定する。 ・アクティブラーニングの研究を実施する。 ・評価基準を生徒に示すことができるように、各教科で評価の方法を具体的に構築する。
生徒指導課	・交通安全指導の充実(重点目標3) ・いじめ防止対策の推進	・交通安全講話の充実 ・集会等での啓発活動 ・PTAとの連携の充実 ・「いじめ防止基本方針」に基づくいじめの早期発見、適切な事案対処	・本校の現状をふまえた安全指導を通して、事故件数の減少を目指す。 ・PTAと連携しながら、生徒一人一人の交通安全意識が向上するよう働きかける。 ・生徒が記入しやすいアンケートの様式や実施方法を検討し、実態把握を徹底する。 ・担任等が抱え込むことのない、組織的な対応を徹底する。
進路指導課	夢をいただき、夢をはぐくみ、夢をかなえる進路指導の充実(重点目標1、3)	・進路目標の設定 ・補習、模試の実施 ・的確な進路情報の提供 ・新入試に向けての準備	・進路LT、探Q、進路講演会を更に充実させ、生徒の進路・進学意識を高め、生徒の積極的な学習への取組を促す。 ・担任会・学年会との連携を密にし、全職員一体となった進路指導を推進する。 ・新入試・新調査書のための情報収集、準備に努める。
保健指導課	・健康と安全に関する意識付け ・校内美化の徹底 ・教育相談の充実(重点目標3)	・保健委員会の充実 ・美化委員会の活性化 ・職員とカウンセラーおよび保護者との連携、健康観察の実施	・保健だより等の作成や心肺蘇生法の講習を通じて健康・安全の意識を高めさせる。 ・環境美化・緑化活動などの美化委員会活動を充実する。 ・カウンセラー・職員・保護者の連携や緊密に通じて、適切な教育支援を行う。
生徒会課	・生徒会行事の活性化 ・部活動の充実	・生徒会行事への積極的参加と協力 ・部活動の活動環境と条件の充実	・生徒会行事を全校生徒(クラス・部活動)の結集した力で、独自個性的なものにしていく。 ・各々の状況に応じた環境や条件を整え、さらなる成果につなげていく。
図書課	・図書館利用の拡大	・Noahを利用したスピーディーな貸出・返却・蔵書点検等業務 ・図書委員会の活性化	・図書館だよりを活用したり、図書委員の自主的活動・藤波祭での発表を通して、本に親しむ機会をつくる。 ・知的探求の場・安らぎの場としての雰囲気づくりに努める。
第1学年	・高校生活3年間の礎となる、基本的な生活習慣 ・学習習慣の定着	・生徒との積極的なコミュニケーション ・授業や部活動、学校行事への積極的な取組	学力の向上と、社会に出るために必要な資質を身に付けさせる。
第2学年	・学校の中核として活躍する生徒の育成 ・日々の学習にも真摯に取り組む生徒の育成 ・授業の重視(重点目標1)	・部活動や学校行事への積極的な参加 ・進路目標を見据えた学習	部活動や学校行事では、上級生としての自覚を持たせる。65分を充分活用した、密度の濃い授業を実施する。生徒一人一人が、自らの進路を意識した日々の学習に取り組ませる。
第3学年	生徒個々が目指す進路目標の実現	・学習に対して真剣な姿勢で取り組ませる。 ・上級学校の先にある将来像の具現化	・競い合う仲間であると同時に、励まし合える仲間としての意識を育成する。 ・生徒・保護者・教員、それぞれが密なる双方向コミュニケーションをもち、共に考える。
学校関係者評価を実施する主な評価項目	「授業改善」「キャリア教育」「外部連携」に加え、「在校時間等の記録」を活用した業務の適正化を図るとともにストレスチェックの結果の活用や高ストレス者に対する医師の面談指導を通じて教職員の確実・適切なメンタルヘルスの保持、「いじめ防止基本方針」に基づく「いじめ防止」への取組を主な評価項目とする。学校評価委員による直接評価を行う。		

(2) 平成 30 年度の学校評価

前年度の重点目標	<p>1 より深く考え、より豊かに表現する力を育むため、授業の改善を図る。 2 多忙化や多忙感を解消するため、業務の効率化を図る。 3 保護者、地域、異校種、企業、海外等との連携や交流による教育を進める。</p>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
総務課	PTA活動、同総会活動の充実(重点目標3)	PTAや同総会の活動を通じた教育の充実	・今年度学校HPをリニューアルし、特にPTA活動や部活動の活動状況などを多く発信することができた。次年度は周年行事の一環でHPにサイトを設けるので、それを機に同窓会のHPも含め多くの方にみていただきたい。
学習指導課	・授業の質の向上 ・家庭学習の充実(重点目標1)	・年間学習指導計画の見直しとその実施 ・授業参観、研究授業の実施 ・「予習→授業→復習」の学習サイクルの徹底	主体的・対話的で深い学びの実現(「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善)についての研究をすすめているが、まだまだ不十分な点が多い。授業の質的向上に向けての取組を引き続き実施したい。
生徒指導課	・交通安全指導の充実(重点目標3) ・いじめ防止対策の推進	・交通安全講話の充実 ・集会等での啓発活動 ・PTAとの連携の充実 ・「いじめ防止基本方針」に基づくいじめの早期発見、適切な事案対処	・外部講師を招き、「これからハンドルを握る君たちへ」というテーマで講演をいただいた。生徒一人ひとりが交通安全の大切さを改めて考える良い機会となった。 ・年2回の調査(記名式・無記名式)や担任の面談等を通していじめの早期発見に努めた。
進路指導課	夢をいだき、夢をはぐくみ、夢をかなえる進路指導の充実(重点目標1、3)	・進路目標の設定 ・補習、模試の実施 ・的確な進路情報の提供 ・新入試に向けての準備	・現行入試の状況把握と情報収集に徹した。 ・新入試に向けて、ポートフォリオへの対応としてデジタルベースでの入力環境を整え、英語資格検定はGTECを受験し、次年度に向けて模試の再検討と変更をした。 ・新入試に向けて、更に情報収集と提供を進めていく。
保健指導課	・自主的な健康管理の習慣づけ ・校内美化の徹底 ・教育相談の充実(重点目標3)	・保健委員会の活性化 ・美化委員会の活性化 ・職員とカウンセラーおよび保護者との連携、健康観察の実施	・心肺蘇生法の講習に参加し、藤波祭での展示発表や学校保健会での活動報告を行うことができた。 ・環境美化・緑化活動を通して美化意識が高められた。 ・カウンセラーと職員、保護の連携により適切な教育支援が行えた。また、健康観察結果のDATAを蓄積することにより、生徒の心と体の掌握と早めの対処に努めた。
生徒会課	・生徒会行事の活性化と発展 ・部活動の成果	・生徒会行事への積極的参加と協力 ・部活動の活動環境と条件の整備	・生徒会行事において全校生徒(クラス・部活動)への参加・協力を受け、よりよきものにつくりあげることができた。 ・各部の活動環境や条件整備を進めてきたが、もつときちん整えることが必要であると感じた。
図書研修課	・図書館利用の拡大	・Noahを利用したスピーディーな貸出・返却・蔵書点検等業務 ・図書委員会の活性化	・貸出・返却の手続きも簡単になり、「図書だより」を確認して来館する生徒や、授業での図書館利用に伴い質の高い読書を求める生徒も増え、来館者数だけでなく貸出冊数も前年度と比べ増加傾向にある。今後も読書の拠点や心のオアシスとなる学校図書館として整備していきたい。 ・図書委員が自ら企画・運営する藤波祭の発表が定着し、館内展示や「図書だより」の制作も委員の活動となった。
第1学年	・高校生活3年間の礎となる、基本的な生活習慣 ・学習習慣の定着	・生徒との積極的なコミュニケーション ・授業や部活動、学校行事への積極的な取組	授業、部活動、学校行事に意欲的に取り組む姿が多く見られた。課題の提出状況も概ね良好である。今後の課題として、スマホとの付き合い方や5分前行動(交通事故防止も含む)が挙げられる。
第2学年	・学校の中核として活躍する生徒の育成 ・日々の学習にも真摯に取り組む生徒の育成 ・授業の重視(重点目標1)	・部活動や学校行事への積極的な参加 ・進路目標を見据えた学習	多くの生徒が、部活動や学校行事に積極的に参加した。仲間とのコミュニケーションを大切にし、個々の役割を果たしている姿が多く見られた。授業中の取り組み姿勢は、一部課題があるが、概ね良好である。今後、進路目標をより具体化していくことが必要であると感じた。
第3学年	生徒個々が目指す進路目標の実現	・学習に対して真剣な姿勢で取り組ませる。 ・上級学校の先にある将来像の具現化	個々の生徒が進路目標を定め、その進路に向けて、授業はもちろん、補習や自主学習にも積極的に取り組み努力した。また、藤波祭などの学校行事には協力して準備し、短い練習時間を有効に使うクラスのステージ発表を仕上げた。今後の成長に向けて礎となっていることを期待する。
総合評価	<p>1 30年度の年間指導計画を29年度中に作成し、教科として指導内容や指導方法を共有した。 2 多忙化解消に向け、会議の精選や部活動指導のルール整備を行った。 3 生徒に向けた校外活動の周知を行い、「知の探究講座」や「英語スピーチコンテスト」等に参加した。</p>		

前年度の重点目標	<p>1 より深く考え、より豊かに表現する力を育むため、授業の改善を図る。</p> <p>2 多忙化や多忙感を解消するため、業務の効率化を図る。</p> <p>3 保護者、地域、異校種、企業、海外等との連携や交流による教育を進める。</p>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
総務課	PTA活動、同総会活動の充実(重点目標3)	PTAや同総会の活動を通じた教育の充実	・今年度学校HPをリニューアルし、特にPTA活動や部活動の活動状況などを多く発信することができた。次年度は周年行事の一環でHPにサイトを設けるので、それを機に同窓会のHPも含め多くの方にみていただきたい。
学習指導課	・授業の質の向上 ・家庭学習の充実(重点目標1)	・年間学習指導計画の見直しとその実施 ・授業参観、研究授業の実施 ・「予習→授業→復習」の学習サイクルの徹底	主体的・対話的で深い学びの実現(「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善)についての研究をすすめているが、まだまだ不十分な点が多い。授業の質的向上に向けての取組を引き続き実施したい。
生徒指導課	・交通安全指導の充実(重点目標3) ・いじめ防止対策の推進	・交通安全講話の充実 ・集会等での啓発活動 ・PTAとの連携の充実 ・「いじめ防止基本方針」に基づくいじめの早期発見、適切な事案対処	・外部講師を招き、「これからハンドルを握る君たちへ」というテーマで講演をいただいた。生徒一人ひとりが交通安全の大切さを改めて考える良い機会となった。 ・年2回の調査(記名式・無記名式)や担任の面談等を通していじめの早期発見に努めた。
進路指導課	夢をいだし、夢をはぐくみ、夢をかなえる進路指導の充実(重点目標1、3)	・進路目標の設定 ・補習、模試の実施 ・的確な進路情報の提供 ・新入試に向けての準備	・現行入試の状況把握と情報収集に徹した。 ・新入試に向けて、ポートフォリオへの対応としてデジタルベースでの入力環境を整え、英語資格検定はGTECを受験し、次年度に向けて模試の再検討と変更をした。 ・新入試に向けて、更に情報収集と提供を進めていく。
保健指導課	・自主的な健康管理の習慣づけ ・校内美化の徹底 ・教育相談の充実(重点目標3)	・保健委員会の活性化 ・美化委員会の活性化 ・職員とカウンセラーおよび保護者との連携、健康観察の実施	・心肺蘇生法の講習に参加し、藤波祭での展示発表や学校保健会での活動報告を行うことができた。 ・環境美化・緑化活動を通して美化意識が高められた。 ・カウンセラーと職員、保護の連携により適切な教育支援が行えた。また、健康観察結果のDATAを蓄積することにより、生徒の心と体の掌握と早めの対処に努めた。
生徒会課	・生徒会行事の活性化と発展 ・部活動の成果	・生徒会行事への積極的参加と協力 ・部活動の活動環境と条件の整備	・生徒会行事において全校生徒(クラス・部活動)への参加・協力を受け、よりよきものにつくりあげることができた。 ・各部の活動環境や条件整備を進めてきたが、もっときちんと整えることが必要であると感じた。
図書研修課	・図書館利用の拡大	・Noahを利用したスピーディーな貸出・返却・蔵書点検等業務 ・図書委員会の活性化	・貸出・返却の手続きも簡単になり、「図書だより」を確認して来館する生徒や、授業での図書館利用に伴い質の高い読書を求める生徒も増え、来館者数だけでなく貸出冊数も前年度と比べ増加傾向にある。今後も読書の拠点や心のオアシスとなる学校図書館として整備していきたい。 ・図書委員が自ら企画・運営する藤波祭の発表が定着し、館内展示や「図書だより」の制作も委員の活動となった。
第1学年	・高校生活3年間の礎となる、基本的な生活習慣 ・学習習慣の定着	・生徒との積極的なコミュニケーション ・授業や部活動、学校行事への積極的な取組	授業、部活動、学校行事に意欲的に取り組む姿が多く見られた。課題の提出状況も概ね良好である。今後の課題として、スマホとの付き合い方や5分前行動(交通事故防止も含む)が挙げられる。
第2学年	・学校の中核として活躍する生徒の育成 ・日々の学習にも真摯に取り組む生徒の育成 ・授業の重視(重点目標1)	・部活動や学校行事への積極的な参加 ・進路目標を見据えた学習	多くの生徒が、部活動や学校行事に積極的に参加した。仲間とのコミュニケーションを大切に、個々の役割を果たしている姿が多く見られた。授業中の取り組む姿勢は、一部課題があるが、概ね良好である。今後、進路目標をより具体化していくことが必要であると感じた。
第3学年	生徒個々が目指す進路目標の実現	・学習に対して真剣な姿勢で取り組ませる。 ・上級学校の先にある将来像の具現化	個々の生徒が進路目標を定め、その進路に向けて、授業はもちろん、補習や自主学習にも積極的に取り組み努力した。また、藤波祭などの学校行事には協力して準備し、短い練習時間を有効に使うクラスのステージ発表を仕上げた。今後の成長に向けて礎となっていることを期待する。
総合評価	<p>1 30年度の年間指導計画を29年度中に作成し、教科として指導内容や指導方法を共有した。</p> <p>2 多忙化解消に向け、会議の精選や部活動指導のルール整備を行った。</p> <p>3 生徒に向けた校外活動の周知を行い、「知の探究講座」や「英語スピーチコンテスト」等に参加した。</p>		

前年度の重点目標	<p>1 より深く考え、より豊かに表現する力を育むため、授業の改善を図る。</p> <p>2 多忙化や多忙感を解消するため、業務の効率化を図る。</p> <p>3 保護者、地域、異校種、企業、海外等との連携や交流による教育を進める。</p>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
総務課	PTA活動、同総会活動の充実(重点目標3)	PTAや同総会の活動を通じた教育の充実	・今年度学校HPをリニューアルし、特にPTA活動や部活動の活動状況などを多く発信することができた。次年度は周年行事の一環でHPにサイトを設けるので、それを機に同窓会のHPも含め多くの方々にみていただきたい。
学習指導課	・授業の質の向上 ・家庭学習の充実(重点目標1)	・年間学習指導計画の見直しとその実施 ・授業参観、研究授業の実施 ・「予習→授業→復習」の学習サイクルの徹底	主体的・対話的で深い学びの実現(「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善)についての研究をすすめているが、まだまだ不十分な点が多い。授業の質的向上に向けての取組を引き続き実施したい。
生徒指導課	・交通安全指導の充実(重点目標3) ・いじめ防止対策の推進	・交通安全講話の充実 ・集会等での啓発活動 ・PTAとの連携の充実 ・「いじめ防止基本方針」に基づいたいじめの早期発見、適切な事案対処	・外部講師を招き、「これからハンドルを握る君たちへ」というテーマで講演をいただいた。生徒一人ひとりが交通安全の大切さを改めて考える良い機会となった。 ・年2回の調査(記名式・無記名式)や担任の面談等を通していじめの早期発見に努めた。
進路指導課	夢をいだし、夢をはぐくみ、夢をかなえる進路指導の充実(重点目標1、3)	・進路目標の設定 ・補習、模試の実施 ・的確な進路情報の提供 ・新入試に向けての準備	・現行入試の状況把握と情報収集に徹した。 ・新入試に向けて、ポートフォリオへの対応としてデジタルベースでの入力環境を整え、英語資格検定はGTECを受験し、次年度に向けて模試の再検討と変更をした。 ・新入試に向けて、更に情報収集と提供を進めていく。
保健指導課	・自主的な健康管理の習慣づけ ・校内美化の徹底 ・教育相談の充実(重点目標3)	・保健委員会の活性化 ・美化委員会の活性化 ・職員とカウンセラーおよび保護者との連携、健康観察の実施	・心肺蘇生法の講習に参加し、藤波祭での展示発表や学校保健会での活動報告を行うことができた。 ・環境美化・緑化活動を通して美化意識が高められた。 ・カウンセラーと職員、保護の連携により適切な教育支援が行えた。また、健康観察結果のDATAを蓄積することにより、生徒の心と体の掌握と早めの対処に努めた。
生徒会課	・生徒会行事の活性化と発展 ・部活動の成果	・生徒会行事への積極的参加と協力 ・部活動の活動環境と条件の整備	・生徒会行事において全校生徒(クラス・部活動)への参加・協力を受け、よりよきものにつくりあげることができた。 ・各部の活動環境や条件整備を進めてきたが、もったきちん整えることが必要であると感じた。
図書研修課	・図書館利用の拡大	・Noahを利用したスピーディーな貸出・返却・蔵書点検等業務 ・図書委員会の活性化	・貸出・返却の手続きも簡単になり、「図書だより」を確認して来館する生徒や、授業での図書館利用に伴い質の高い読書を求める生徒も増え、来館者数だけでなく貸出冊数も前年度と比べ増加傾向にある。今後も読書の拠点や心のオアシスとなる学校図書館として整備していきたい。 ・図書委員が自ら企画・運営する藤波祭の発表が定着し、館内展示や「図書だより」の制作も委員の活動となった。
第1学年	・高校生活3年間の礎となる、基本的な生活習慣 ・学習習慣の定着	・生徒との積極的なコミュニケーション ・授業や部活動、学校行事への積極的な取組	授業、部活動、学校行事に意欲的に取り組む姿が多く見られた。課題の提出状況も概ね良好である。今後の課題として、スマホとの付き合い方や5分前行動(交通事故防止も含む)が挙げられる。
第2学年	・学校の中核として活躍する生徒の育成 ・日々の学習にも真摯に取り組む生徒の育成 ・授業の重視(重点目標1)	・部活動や学校行事への積極的な参加 ・進路目標を見据えた学習	多くの生徒が、部活動や学校行事に積極的に参加した。仲間とのコミュニケーションを大切にし、個々の役割を果たしている姿が多く見られた。授業中の取り組む姿勢は、一部課題があるが、概ね良好である。今後、進路目標をより具体化していくことが必要であると感じた。
第3学年	生徒個々が目指す進路目標の実現	・学習に対して真剣な姿勢で取り組ませる。 ・上級学校の先にある将来像の具現化	個々の生徒が進路目標を定め、その進路に向けて、授業はもちろん、補習や自主学習にも積極的に取り組み努力した。また、藤波祭などの学校行事には協力して準備し、短い練習時間を有効に使いクラスのステージ発表を仕上げた。今後の成長に向けて礎となっていることを期待する。
総合評価	<p>1 30年度の年間指導計画を29年度中に作成し、教科として指導内容や指導方法を共有した。</p> <p>2 多忙化解消に向け、会議の精選や部活動指導のルール整備を行った。</p> <p>3 生徒に向けた校外活動の周知を行い、「知の探究講座」や「英語スピーチコンテスト」等に参加した。</p>		